仕事の喜び　ＯＢから

港高で今年もユニーク授業

仕事の喜びや厳しさをＯＢが在校生に語るユニークな課外授業「教えて！先輩」が十一月十九日、港高校で行なわれました。五回目。

卒業生五十数人が来校。うち自営業や公務員などで活躍する三十九人が一・二年生約六百人の講師役を務めました。このうち介護福祉士の高橋幸代さん（二十一期）と外務省勤務の山中真一さん（二十九期）は二年生十数人を担当しました。

仕事の喜びと厳しさを語る介護福祉士・高橋幸代さん（手前）と、外務省勤務・山中さん（向こう側）

◆介護職に生きがい

高橋さんは、①介護職に就くとは思いもよらなかったが、ボランティアで活動するうちやりがいを感じ、資格を取った。人は変われるし向上できる②人と人が関わる毎日は刺激的。謙虚さも必要。ただ価値観の違う人と一緒に仕事するのは辛く悲しいこと③仕事がきつい割に給料が安い。でも生きがいを感じるから続けられる④介護はコミュニケーション。話をするだけでなく、よく聞き、よく観察すること⑤最後に『よかった！』と思える人生のお手伝いをしたいと頑張っている―などと語りました。

◆外務省勤務にやりがい

一方、山中さんは、①採用試験に合格し、インドの総領事館や国連代表部などに勤務してきた②他の国の人と接することを通じて国家間の理解を深め、戦争しない状態が続くようにする、とてもやりがいある仕事だ③語学、法律からスポーツまで色んな分野に通じていることが人間の幅をつくり、仕事にも生きてくる―などと語りました。

聴き終わった生徒の一人（女子）は、「介護には喜びと共に、価値観が違う人と一緒に仕事する辛さなど苦しい面もあること、コミュニケーションが特に大切なこと―などが分かり、福祉分野へ進みたい気持ちがさらに強まりました」と話していました。

感動呼んだ人権講演

〝小中連携〟すすむ港中校区

感動的な講演会で〝小中連携〟がさらに前進―。港中学校区の「三校合同ＰＴＡ人権講演会」が十一月六日、港中学校で行なわれました。港中生徒と八幡屋小、池島小の五・六年生、及び各校の保護者が参加。障がいのある鍛冶克哉さん（二五）が、「ともに生きる～電動車いすに乗って～」と題して講演しました。

三校では現在、小中連携の効果的な指導を行なうため、「出前授業」（中学校の教職員が小学校に出向いて授業をする）など様々な取り組みを進めています。

ＰＴＡも「小中連携の一層の前進」を図るため、この講演会を企画しました。

◆心のバリアフリーを

鍛冶さんは未熟児で保育器に入った影響で障がいが生じ、生後七カ月で脳性マヒと診断されました。小学二年生から手動車いすに乗りましたが、キックベースボールなどを一緒に楽しめるようにと級友が特別ルールを考えたりしてくれたそうです。高校から電動車いすに乗り、卒業後も積極的に街中へ出かけ、現在は府内の障がい者自立支援センターに勤務しています。

鍛冶さんはこうした経歴を披露しながら、「鍛冶という人間がたまたま障がいを持っているだけ。一人の人間として生きているし、そう見てほしい『障がい者を見たら『何かお手伝いできることはありませんか』のひと言を。心のバリアフリーこそが求められています」などと呼びかけました。

講演後、小中学生からは「障がいのある人もみんな一緒なのだと教えてもらいました」「つらいことがあっても乗りこえなくちゃと元気が出ました」などの感想が出され、鍛冶さんは「講演は多くしているが、小中学生合同は初めて。とても熱心に聴いてもらい、感激しました」と話していました。

講演の後で交流する鍛冶さん（花束を持っている）と小中学生＝11月6日、港中学校で（港中学校提供）

催しガイド

■ＧＥＮ（緑の地球ネットワーク）の呼びかけ　①「２０１０春の黄土高原ワーキングツアー」参加者募集＝十九年目に入るＧＥＮ（認定特定非営利活動法人・緑の地球ネットワーク）の中国山西省緑化協力の成果を観察し、農村の人々と交流する。失われた緑を取り戻す試みに参加する人を募集▽日程：四月三～九日▽訪問地：山西省大同市（北京経由）▽費用：十三万五千円・他▽募集人員：三十五名②絵葉書『黄土高原の花』販売中＝八枚組三百円。詳細はＧＥＮの事務所（市岡一―四―二四―五階☎六五七六―六一八一）へ。

■団結もちつき大会　労働運動の高揚めざして労働者と地域住民が餅をつき交流する伝統行事。三十九回目。港合同と同もちつき実行委主催、ＮＰＯみなと共催。十二月十九日（土）十一時から田中機械（南市岡三―六―二六）で。雨天決行。参加費無料。☎六五八三―四八五八港合同。

■タイのエイズの子どもたちへの支援チャリティ施術会　日本気道術学会が主催する月例のチャリティ施術会。「タイのエイズの現状を知り、最大の犠牲となっている子供らに救いの手を」との呼びかけに区民が来場し、施術を受けている＝**写真**。第十八回は十二月二十五日（金）十三～十六時に港区民センター一階「菊」の間で。支援金一口五百円。ボランティアお手伝いさん募集。☎〇八〇―一四〇四―四三三九「快生堂」堀川。

読者コーナー

読者の皆さんの投稿を歓迎します。内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行ないます。匿名でもかまいませんが、内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いします。手紙かハガキかファクスで送って下さい。

昔の活気なつかしい小売屋さん頑張って

（池島１・勝部泰臣）

「小売屋さんもしんどいなぁ…」―貴紙１～２面のシリーズ「逆境に耐える地域小売業」を毎月読後の同情の溜息。身につまされるワ、ホンマ。八幡屋、築港、夕凪、繁栄…休みの日には必ずどっかの商店街で朝から一杯引っかけて巡り歩くのが楽しみやった。二十数年前のあの活気みなぎる雰囲気が恋しいわい。今は味もそっけもない世の中になった。何が規制緩和や、金儲け第一主義の制度づくりやないか。今日は朝から八幡屋のＳ屋豆腐店で揚げ立てアツアツの揚げさん貰うた。醤油かけて食べたら旨いの何の！　スーパーじゃ絶対買えんわな。私のような昭和ヒトケタはみんな同じ気持ちや思う。心から「小売屋さん、頑張っておくんなはれや！」。

浜口さんに男気感じる

（池島３・30代男性）

「シリーズ・逆境に耐える地域小売業」で、港モータース、浜口サイクルショップのご主人の記事（前号１面）に深い感銘を受けました。喜ばれることを第一に真面目にやっておれば潰れることはないという信念に男気を感じます。何か実際に助けになって差し上げることはないか、と自問しています。

地元で自転車買った

（波除１・女性）

「逆境に耐える地域小売業」（毎号１面連載）を読んで。地元の自転車屋でママチャリを買いました。いつもなら自転車は大型店で買うのですが、今回は近くの店に行き、アフターケアのことなど色々質問したり、教えてもらったり、「何かあったら行くからね」などと親しく話しながら買いました。今、それで仕事や買い物をしています。港新聞さん、これからも地元の店や会社のことを紹介して下さいネ！

目見張るフリマ提言

（池島３・男性）

「フリマのモラル考えて」との藤田紀江さんの提言（前号２面「叫んでいいとも！」）には目を見張るものがありました。フリマは東京に住んでいた頃、休日の楽しい催しで、皆で支え合っている感じがありました。書かれていた弁天町オークのフリマの買い手の実態にはビックリでした。現金収入だけを求めて出品している訳でないことは、私も判ります。その日は店長として活躍できる喜びや楽しみもあるのですからね。藤田さんの記事を読んで、「おっしゃ～、俺も一丁フリマに出店したろか！」と逆に挑戦してみたくなりました。あ、商品探しせな。

〝ざっくばらん〟もここまでくれば……

（磯路２・女性）

私は戦後引き揚げ者なので、戦争体験（毎号８面）などを一番先に読みます。「フリマのモラル考えて」との提言（前号２面）では、特にオーク２００の買い手が最悪とのこと。大阪人の〝ざっくばらん〟もここまでくればひんしゅくものですね。不況の折から、これを反省材料として、せっかく大勢が集まる場を、楽しみながら活用出来る場にしてほしいです。

フリマの買い手の言動恥ずかしいほどリアル

（弁天１・女性）

私は昭和二年生まれで、同じような体験をしているので、「平和のため戦争体験語り継ごう」（毎号８面）は毎号深い気持ちで読んでいます。「フリマのモラル考えて」（前号２面）の心ない買い手の言動は恥ずかしくなるほどリアルです。大勢の中にはそういう人もあろうかと思いますが、頑張って下さい。

モラル欠如ショック

（磯路３・女性）

「フリマのモラル考えて」（前号２面）を読んで。最近私の会社でもお客様から赤字になってしまうような値切りや無理な納期短縮など理不尽な要求が多く、困っているのですが、個人のお客様にもそのようなモラルの欠如がはびこっていることを知り、ショックでした。節度のない大人が増えることで、子供たちが将来に希望を持てなくなるのでは、と心配しています。

「人生劇場」楽しみ

（池島３・男性）

「人生劇場」（毎号６面）での宇山義子さんの〝憧れの家主生活〟の話は面白かったです。今と状況が違うとはいえ心構えなどは参考になります。次号ではどんなお話が？と楽しみです。

サラ金・クレジットローンなどを利用中の方
違法なグレーゾーン金利の被害者になっていませんか？！
弁護士の無料法律相談実施中！
あなたに合ったベストな解決方法はあります《秘密厳守》
安心してお任せ下さい！
内緒のままでも対応OK！
親切、ていねい、気軽に相談できる
大阪弁護士会所属　黒川・谷 法律事務所
弁護士 黒川 勉（日弁連登録番号15687）
弁護士 谷 憲和（日弁連登録番号39554）
北区西天満2-8-1大江ビル411号室　地下鉄・京阪「淀屋橋駅」歩7分、JR「大阪駅」歩15分　☎06-6130-7880代〈受付:月～金曜/10～18時〉